

# 平成27年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点      マスタープラン： 3つの挑戦      施策番号： 1-3 ・ 6-3 ・      局・課名： 建設局 連続立体推進課

事業名	南海本線連続立体交差事業		事業費(千円)	平成25年度決算額	平成26年度予算額	平成27年度要求額
				1,383,300	1,565,272	1,669,274
<b>事業概要</b>	<b>【目的】</b>		<b>債務負担行為</b>	期間		要求額(千円)
	鉄道の高架化により7箇所の踏切を除却し、合わせて側道、駅前線を整備することにより、安全で円滑な交通の確保、一体的なまちづくりの実現及び良好な生活環境を確保する。			H28	21,000	
	<b>【内容】</b>		(単位:千円)			
	[連続立体交差事業] ・南海本線の石津川～高石市境界付近の連続立体交差化(約2.7km) ・踏切7箇所(うち自動車ボトルネック踏切2箇所、歩行者ボトルネック踏切1箇所)の除却 ・全体事業費:約423億円(高架施設・側道整備費含む) ・関連側道:約2.9km(東側:約1.1km、西側:約1.8km) ・連続立体交差化される駅:諏訪ノ森駅、浜寺公園駅 (※自動車ボトルネック踏切:一日の踏切自動車交通遮断量が5万以上の踏切 ※歩行者ボトルネック踏切:一日の踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和が5万以上かつ一日あたりの踏切歩行者等交通遮断量が2万以上になる踏切) [駅前線整備事業] ・浜寺公園駅前線(延長69m、幅員20m、駅前交通広場3,700㎡) ・諏訪ノ森駅前線(延長90m、幅員18m、駅前交通広場1,300㎡) [浜寺公園駅及び諏訪ノ森駅駅舎保存活用事業] 工事に支障となる浜寺公園駅及び諏訪ノ森西駅舎は、それぞれ明治40年、大正8年に建築された歴史的建造物であることから、次世代へ文化財的価値が継承できるよう市民と協働し保存活用を行う。		項目	26年度予算	27年度要求額	内容・積算等
			南海本線連続立体交差事業及び関連事業委託料	47,440	115,892	支障物件調査業務、現駅舎調査業務等
			公有財産購入費	581,863	464,727	買収予定面積 2019㎡
			補償・補填及び賠償金	148,704	184,580	支障物件補償予定数6件、占用物件移設
			工事請負費等	74,000	188,500	歩道橋移設、仮側道、建物及び事業用地基礎撤去等
			負担金・補助及び交付金	650,996	645,281	高架構造物詳細設計、仮線工事(仮駅舎)
			連続立体交差事業無利子貸付金	50,000	50,000	国負担:25,000千円、堺市負担:25,000千円
		その他	12,269	20,294	消耗品費・印刷製本費等	
		合計	1,565,272	1,669,274		
<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>						
<b>【経過(～26年度)】</b>			<b>【27年度】</b>		<b>【今後予定(28年度～)】</b>	
H15年度 着工準備採択 H17年度 都市計画決定 H18年度 事業認可取得 H19～22年度 用地買収、高架構造物の設計等 H20年度 駅舎保存活用構想策定 H25年度 基本協定締結、駅周辺計画提案競技実施 H26年度 鉄道工事本格着手、関連道路等暫定整備			用地買収、仮側道整備等、高架構造物設計、仮駅舎及び仮線工事		用地買収、仮側道整備、仮駅舎及び仮線工事の推進、高架工事の推進	
<b>その他 特記事項</b>						
みんなの審査会対象外 関連事業:-						
<b>【今年度要求のポイント】</b>		仮線工事の推進、高架工事の早期着工をめざし、事業用地の取得、鉄道施設の設計、関連道路の暫定整備工事などを進めていく。				